



走る蓄電池・燃料電池として活用！音が静かでCO₂・排ガスもゼロ！

電気自動車（EV）・燃料電池自動車（FCV）



問合せ先 大阪府商工労働部 成長産業振興室産業創造課 新エネルギー産業グループ TEL:06-6210-9295
 大阪府環境農林水産部 環境管理室環境保全課 自動車環境推進グループ TEL:06-6210-9586

電源プラグに電気機器を接続



【EV（日産リーフ・e-NV200）の場合】

リーフのバッテリー容量は40kWhで、一般家庭の消費電力の約3～4日分に相当します。また、e-NV-200のバッテリー容量は24kWhで、一般家庭の消費電力の約2日分に相当します。e-NV-200には、バッテリーから100Vを供給する電源プラグが2口あり、走行中、あるいは行く先々で、家庭用コンセントと同等の電源として使えます。

【FCV（トヨタMIRAI）の場合】

供給可能電力量は約60kWhで、一般家庭の消費電力の約6日分に相当します。

活用事例（100V）

日常の業務に活用



ノートPC
40W



照明
(LEDランタナ)
400W

地元イベントに活用



テレビモニター
100W



電気ストーブ
800W

災害時に活用



電気ポット
700W



携帯電話充電器
15W

災害等緊急時の備えとして

BCP対策にも活用できます

災害時、電力の復旧はガスや水道に比べて早く、発生直後をいかに乗り切るかがBCP対策のカギとなります。EV等が緊急時のライフラインとして活躍します。

電気復旧まで

「走る蓄電池・燃料電池」として、災害本部や避難所でも多目的に活用



電気復旧後

緊急車両として使用し、ガソリンを温存



※ BCP: 業務継続計画 (Business Continuity Plan)

環境にやさしい

EV Electric Vehicle
電気自動車



100%電気で走る

FCV Fuel Cell Vehicle
燃料電池自動車



水素で発電した電気で走る

- CO2の排出量はゼロで、地球温暖化対策に貢献
- 有害ガス排出量はゼロで、大気環境の保全に貢献
- モーターで走るの、車体からの騒音はほとんどない



充電施設、水素ステーションの情報
(府ホームページ)